

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	185 防災基盤整備倉庫整備推進事業	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
基本 施策	15 自然災害等への十分な備えをする	目	19	防災費
		細目	153	防災対策経費
		細々目	59	防災基盤整備倉庫整備推進事業
行革大綱の重点事項番号				
担当部署	コード 300100 名称 総合危機管理室	担当者 氏名	亀井 英樹	連絡先 22 - 9640 (内線) 2322

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	災害時の被災者 ※対象件数 10000人
成果(どうする)	災害時における救出、救護物資の迅速な配布等の対応が受けられる。
根拠法令・要綱等	伊賀市総合計画
開始年度	平成 19 年度
終了年度	平成 34 年度
H22 事業 内容	孤立対策地区及び住民自治協議会域単位を中心に、防災倉庫としてコンテナを配備する。
社会情勢 の変化等	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	伊賀市市有地地内 面積等詳細未定
2 建設面積 (延床面積)	既存施設等活用
3 規模・構造	
4 総事業費	33,600 千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	未定
2 配置人員	0人
3 年間運営費	0千円
4 市内の 類似施設	無し

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
防災倉庫整備数		基	目標	3	目標	1
			実績	3	実績	1
			目標		目標	
			実績		実績	

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
防災倉庫整備率(住民自治協議 会単位) n/38地区		防災倉庫を増やすことが、非常時 への対応力の確保を示す指標とな る	%	目標	44	目標	46
				実績	44	実績	39
				目標		目標	
				実績		実績	

投入 コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
A の 財 源 内 訳	国庫支出金	3,426	1,148	1,200	3,000
	県支出金	326	382	600	1,500
	地方債				
	その他	0	0	0	0
	一般財源	3,100	766	600	1,500
	事業投入人件費(B)	0.4人	2,880	0.4人	2,880
	フルコスト(A)+(B)	6,306	4,028	4,080	5,880

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必 要 性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対応し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	○
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
	民間のサービスだけでは地域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	全体の設置目標数を検証したため。
	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
効果性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況	
改善策	各種補助金制度を活用して、設置を推進する。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 孤立対策事業として鳥ヶ原支所駐車場へコンテナ倉庫を設置した。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	橋本 浩三
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 市民地区センター単位で最低1棟を目標にコンテナ型倉庫を設置する。(未設置23箇所)
現時点における課題、その他	未設置箇所が多い。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	少しでも有利な補助金制度を活用して、設置を推進する。